

ヤマハ系企業の「健康経営」紹介

浜松で年末講演会

日本政策金融公庫浜松支店と静岡西部中小企業懇話会はこのほど、年末講演会を浜松市中区で開いた。ヤマハビジネスサポート(同区)の渡辺英樹社長が、健康経営やワークライフバランス推進、健康経営の取り組みの成果を紹介した。



ワークライフバランスを推進する取り組みなどを紹介した講演会＝浜松市中区

同社はヤマハグループ各社の人事、経理、情報システムなどの業務を請け負う。渡辺社長は「急激な業務増加で忙しいとの声を踏ま

え、ワークライフバランスや健康経営を軸に据えた」と説明した。従業員の自発的な業務改善やソフトウェアロボット導入をはじめ、全員が同時に帰る「一斉カエルデー」、作業に集中する「集中タイム制」導入などのユニークな取り組みも伝えた。

2015年度と17年度の比較で1人当たり残業時間が22%減、有給休暇取得が5%増といった効果も挙げ、ホームページでのPRで「採用実績にもつながった」と述べた。

同社は17年度に県の「子育てに優しい企業」表彰を受け、18年には厚生労働省の「くるみん」と「えるぼし」(最上位)に認定された。